

東北森林管理局

## 山形森林管理署 もがみ支署通信

【令和5年度最上地域スマート林業現地検討会に参加しました】

土煙を舞い上げながら突き進む



当支署職員も操作を実践



【8月3日（木）】最上地域スマート林業協議会が主催する「令和5年度山形県スマート林業研修会」に参加しました。

今回の現地検討会では、下刈作業の軽労化・省力化を実現に向け、高性能林業機械（リモコン操作式下刈り機）による下刈り作業の効果を確認するためのデモンストレーションが行われました。使用された機械はハイδροマチック・モア（写真の機械）という刈払い機で、リモコン操作により35度の急斜面での作業や機械高を変えて伐根を乗り越える機能を有し、踏破力に優れた機種です。

土煙を上げながら前進する機械の通り過ぎた後方がきれいに刈り払われるさま、進行ルート上の伐根をロータリー刃による破碎とリモコン操作による伐根の乗り越えるところを見学しました。

当支署の職員も操作を志願し、機械を開発した会社スタッフから操作説明を受け、機械による下刈りを実践しました。初めての操作ながら、うまいこと植栽木と植栽木の間を縫うように走行させ、下刈り作業を実施して見せました。

猛暑の環境下で行う事の多い下刈作業ですが、こういった機械が普及し、作業環境の改善や省力化が現実となる日が、一日でも早く訪れて欲しいと思われた検討会でした。

【第20回四ヶ村棚田ほたる火コンサートに出席しました。】

実際の会場はもっと幻想的です



【8月5日（土）】大蔵村四ヶ村棚田ほたる火コンサート実行委員会が主催する第20回四ヶ村棚田ほたる火コンサートに出席しました。数年振りにコロナ禍による入場制限も解除されての開催となり、当日は950名の来場者があったとのことでした。

会場となる四ヶ村の棚田は、「日本の棚田百選」に認定されているとともに、農林水産省が選定する「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」にも選ばれています。

オカリナ奏者「宗次郎」氏とピアニスト「小林真人」氏らが奏でる澄んだ音色が日本の原風景を思い起こさせる四ヶ村の棚田に響き渡り、蝋燭に灯されたほたる火も相まって幻想的な雰囲気会場が包まれていました。

先人たちが苦勞して築き上げてきた棚田の美しい景観を守り、後世に伝えたいとの思いから始まった大蔵村の取り組みが今後も継続できるよう、最上支署では四ヶ村棚田の周りに広がる国有林を適切に管理・運営していきます。

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11  
TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

